

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	川口 正剛
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)	都市政策課	
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	5,587,418

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)</p> <p>九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)は、交流人口の拡大や産業振興につながる重要な交通基盤であることから、令和4年秋の着実な開業を目指します。また、新鳥栖～武雄温泉間については、西九州地域の発展に大きく寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。</p> <p>また、九州新幹線西九州ルートの整備に伴い、上下分離方式に移行することとなるJR長崎本線(肥前山口～諫早)は、令和4年秋の西九州ルート開業に合わせ、確実な実施に向けて取り組んでいきます。</p>		<p>(取組項目)</p> <p>i) 西九州ルートの令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現 ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進 iv) 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進</p>							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業	目標値①	/	—	開業	/	/	開業(R4)	武雄温泉～長崎間については、令和4年9月23日に、武雄温泉駅での対面乗換方式による開業を迎えた。 一方、新鳥栖～武雄温泉間については、令和元年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、現在、国土交通省と佐賀県の間での協議や与党での検討をはじめ、関係者間での議論が行われている。 フル規格による整備の早期決定に向けて、県では、地方負担や並行在来線等の課題解決を図るよう、政府・与党やJR九州に対して要請等を実施した。
		実績値②	—	—	開業	/	/	進捗状況	
	達成率②/①	/	—	—	/	/	達成		

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等		
				R3実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率	
				R4実績					R4目標	R4実績			
				R5計画	R5目標	R5実績							
事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等									
事業期間		法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象								
所管課(室)名													
取組項目 i	○	1	新幹線・鉄道整備促進事業	29,581	29,581	38,950	全線フル規格の実現に向け、国等への要望活動や情報収集、県内向け広報・啓発活動を行った。また、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	【活動指標】	数値目標なし	7	—	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・国土交通省と佐賀県の間での協議や与党での検討をはじめ、関係者間での議論が行われており、令和5年2月には与党PT検討委員会から国土交通省に対し、新幹線事業は国家プロジェクトであるとの位置づけを再認識し、省全体で取り組むよう求められた。また、広報活動等により、西九州新幹線の開業やフル規格による整備に対する気運が高まった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・九州新幹線西九州ルート of 整備促進に寄与した。 	
				370,380	370,780	38,265		【活動指標】	数値目標なし	9	—		
				665,156	388,056	30,864		【活動指標】	数値目標なし				
			—			—		【活動指標】	10				
H7-					国、市町、鉄道事業者等	【成果指標】	数値目標なし	—	—				
新幹線対策課		—	○	—	国、市町、鉄道事業者等	-R4: 西九州ルート of 令和4年秋までの開業	数値目標なし	開業	—				
		—	○	—	国、市町、鉄道事業者等	R5-: JRによる府県相互間旅客輸送人員[関西・中国・福岡県～長崎県(千人)]	2,305						
取組項目 ii	○	2	JR佐世保線高速化整備事業	886,835	886,835	3,895	西九州新幹線開業に合わせて、JR佐世保線を高速化するために必要な地上設備の整備を実施した。	【活動指標】	6	7	116%		<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・レール交換や路盤改良等を実施し、令和4年9月に振り子型車両の運行が開始した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・佐世保線の利便性の確保に寄与した。
				181,391	181,391	3,827		【活動指標】	4	2	50%		
				—				—	【成果指標】	98	78		
			(R4終了)R元-4					主な軌道工事の進捗率(%)	100	100	100%		
新幹線対策課		—	○	—	JR九州								
取組項目 iii	○	3	新幹線整備事業費負担金	9,935,359	938,900	19,475	九州新幹線西九州ルート of 建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	【活動指標】	数値目標なし	9,935,359	—	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・令和4年9月23日に開業し、着実に工事を進めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・九州新幹線西九州ルート of 建設に寄与した。 	
				4,445,401	424,345	19,133		【活動指標】	数値目標なし	4,445,401	—		
				3,309,829	46,931	15,432		【活動指標】	数値目標なし				
				—				—	【成果指標】	数値目標なし	—		
			H19-					西九州ルート of 令和4年9月23日の開業	数値目標なし	開業	—		
都市政策課		—	○	—	鉄道・運輸機構								

取組項目iv	○	4	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	1,156,388	734,105	10,994	デザイン検討会議を3回開催し、長崎駅舎・駅前広場等の整備に係るデザインの調整を行った。	【活動指標】	10	12	120%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいたデザイン調整を行い、駅前広場の工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎等の施設・公共空間のデザイン調整により、西九州新幹線の開業を契機としたまちづくりの推進に寄与した。 	
				24,212	22,554	10,754		【活動指標】	3	3	100%		
				61,818	52,472	10,031		【活動指標】	2				
			H19-					【成果指標】	1	1	100%		
		都市政策課	—	○	—	長崎市、JR九州	長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画テーマの達成項目(個)	1					
	○	5	長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	1,235,905	27,357	—	令和4年度は、側道の復旧工事等を行った。	【活動指標】	4	5	125%		<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 <ul style="list-style-type: none"> ・JR長崎本線の高架化により、西九州新幹線の開業を契機としたまちづくりの推進に寄与した。
				462,893	10,551	—		【活動指標】	2	3	150%		
				1,172,257	1,000	—		【活動指標】	2				
				H21-				【成果指標】	97	97	100%		
		都市政策課	—	—	○	JR九州	事業進捗率(%)	97	97	100%			
							96						
	○	6	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	90,026	13,439	3,927	令和4年度は、浦上駅前広場の復旧工事等を行った。	【活動指標】	4	5	125%		
103,141				52,757	3,841	【活動指標】		2	3	150%			
145,058				1,680	3,086	【活動指標】		2					
H22-						【成果指標】		97	97	100%			
	都市政策課	—	○	—	JR九州	事業進捗率(%)	97	97	100%				
						96							

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	西九州ルートの特4年秋までの開業と全線フル規格化の実現	<ul style="list-style-type: none"> ●実績の検証及び解決すべき課題 <p>新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、現在、国土交通省と佐賀県の間での協議がなされており、与党の検討状況も報告されたところであるが、整備に向けては、佐賀県の理解が不可欠である。今後も、佐賀県が課題とする在来線や地方負担等の課題の解決に向け、それぞれの場で精力的に協議を積み重ね、議論を進展させることが必要である。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決に向けた方向性 <p>地方負担や並行在来線等の課題解決を図り、関係者が納得する形で早期に整備が実現できるよう、佐賀県と継続的にコミュニケーションをとりながら、西九州地域全体の視点から、議論を積み重ね、関係者との協議をもつなど、全線フル規格による整備の早期実現を目指していく。</p>
ii	JR佐世保線の輸送改善に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ●実績の検証及び解決すべき課題 <p>JR九州及び佐世保市と協議を重ね、令和4年9月の九州新幹線西九州ルートの開業に合わせて、JR佐世保線の高速化事業を実施することができた。今後は、高速化事業の効果が発揮されるよう列車を運行する必要がある。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決に向けた方向性 <p>JR佐世保線の高速化事業の効果が最大限発揮されるよう、JR九州へ利便性向上に向けたダイヤ改正等の要望を実施していく。</p>
iii	西九州ルートの特早期完成・開業を目指した整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ●実績の検証及び解決すべき課題 <p>西九州ルートは令和4年9月23日に開業し、着実に工事を進めることができた。令和7年度までは残事業(高架下等の工事や環境対策対応)を実施予定である。残事業にあたっては、特に課題は無い。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決に向けた方向性 <p>残事業(高架下等の工事や環境対策対応)が早期に完了できるよう、鉄道・運輸機構や地元市町等と連携し、進捗を図っていく。</p>

iv 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進

●実績の検証及び解決すべき課題

長崎駅周辺連続立体交差事業については、令和2年3月28日に高架化が完了しており、残事業は側道整備となっている。側道整備にあたっては、特に課題は無い。

●課題解決に向けた方向性

令和5年～令和6年にかけて側道整備を行う。

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しできているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理できているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点